

タイトル	国際市場細分化を中心とする実証化：1991年時点と2000年時点の比較分析(山田定市教授退職記念号)
著者	黒田，重雄
引用	北海学園大学経営論集，2(4)：141-159
発行日	2005-03-25

# 国際市場細分化を中心とする実証化

— 1991年時点と2000年時点の比較分析 —

黒 田 重 雄

## 目 次

本稿のはじめに

### 1. 現代国際市場細分化分析

- 1-1. 検討される国際市場細分化変数と世界の国々
- 1-2. 採用された34変数項目
- 1-3. 分析対象国(39カ国)
- 1-4. 類型化分析

### 2. 国家類型の時点間比較(1991年データ分析と2000年データ分析の比較)

- 2-1. 1991年データ分析における変数と国々
- 2-2. 1991年データ分析結果の要約

本稿のおわりに

注と参考文献

使用された資料と分析法

付表

## 本稿のはじめに

筆者は、かつて拙著「比較マーケティング」(1996)において、市場細分化の観点から、1991年を中心とするデータ(以下、1991年データ)を用いて、世界の国家・地域の分類(国家類型化)を試みている<sup>(1)</sup>。

かねてより、こうした分類結果が現在ではどうなっているのか、また、時系列的な変化状況はどうか等について継続的に分析を行いたいと考えていた。ただ、この種の研究には、資料収集や分析用具利用などに相当の費用が掛かることから、実証部分については棚上げにされてきた感があった。しかし今回、文部科学省の平成15、16年度と2年間にわたる科研費を得ることができ、したがって、関連

ある2000年データの収集・分析を行うとともに、それと1991年データ分析との比較検討が可能となったわけである(収集された資料については本稿末を参照)。

こうした実証化とは別に、上記拙著「比較マーケティング」以降の「比較マーケティングにおける国際市場細分化の理論的・実証的研究」に関する文献サーベイの方は、出来る限り幅広くを心掛けながら間断なく行っている<sup>(2)(3)(4)</sup>。

以上のような筆者の研究状況のうち、本稿では、特に実証化部分の紹介が中心である。具体的には、2000データによって取りうる国々と変数を用いた国家類型化分析を行い、次いで、1991年データの類型化分析と同様の「分析枠組み」ならびに「変数」による2000年データ分析との比較検討がなされる。

本稿で明らかにしたい課題をまとめると、以下ようになる。

- i) 近年(2000年中心)データによって取りうる国々と変数を用いた国家類型化はどこまで分析可能か。
- ii) 1991年データと2000年データとの間で、データのつながりはどうなっているか。すなわち、類型化分析に使用される変数やその定義に齟齬はないか。
- iii) 両時点の類型化分析による各国の分類は、この約10年間で変化しているか。

## 1. 現代国際市場細分化分析

### 1-1. 検討される国際市場細分化変数と世界の国々

本稿の国家類型化分析における基準年は、2000年としているが、前回（1991年データ）同様 Euromonitor 資料を中心にデータ収集を行っている<sup>6)</sup>。

この場合、統計データ上の問題点がいくつか発生していることに注意を要する。例えば、

- 1) 1991年データ分析との比較をしようとする場合、国によってそれを妨げる変数の欠落があることである。この理由の一つに、年数が経つと、国によってある変数データをとることの必要性がなくなったり、また、新たな変数（データ）が必要になったりすることが挙げられる。
- 2) また、2000年データを含む Euro-monitor の最近の2002版では、1993年版とは変数の取り方や変数の定義に若干の相違がみられる。
- 3) そして、類型化分析を行うに際しての、国家と変数の「数」の決定における相変わらずの「国を増やすと変数が減り、変数を増やすと国が減る」という二律背反の存在である。

3番目の二律背反に対する1991年データ分析の考え方は、5大陸における国々にある程度の配慮（ほとんどの国で必要変数データの整備されていないアフリカ大陸でも最低1カ国は取り上げたい、また、アジアについては少なくとも10カ国は確保したいなど）を行うことであった。その結果、分析に採用されたのは、「40変数項目、36カ国」であった。

今回（2000年中心）は、特に、国の数を出来る限り増やす（東ヨーロッパ諸国を加える）ことを念頭にデータの収集を行っている（Euromonitor 資料が中心であることには変わらない）。もとより、1991年データ分析に

における変数の大分類【a) 消費者行動変数、b) 経済変数、c) 人口社会的変数、d) 流通・マーケティング変数、e) その他変数】内に属する項目データはかなりの程度満たされることが前提である。

以上の点を考慮した結果、「34変数項目、39カ国」が国家類型化分析に採用された。

### 1-2. 採用された34変数項目

#### a) 消費者行動変数（1国）：

- 1) 民間消費支出総額、2) 項目別支出割合（食料、レジャー関連）、6) 乗用車普及率、8) 平均世帯構成員数  
(以上、5個)

#### b) 経済変数：

- 1) 総国内生産物（GDP）、4) 年平均経済成長率、10) 輸出総額、11) 輸入総額、15) インフレ率、22) 総家庭用光熱費、23) 国防費、26) 製造業就業人口割合、第3次産業就業人口割合、29) 失業率  
(以上、10個)

#### c) 人口社会的変数：

- 1) 国土面積、2) 耕地面積、4) 総人口、7) 平均寿命（男、女）、8) 65歳以上人口割合、11) 都市人口比率、14) ラジオ普及台数、15) テレビ普及台数、16) 電話回線数、17) 医師数、18) 病床数、19) 1日当たりカロリー摂取量、（新）携帯電話登録者数（以上、14個）

#### d) マーケティング・システム変数：

- 1) 広告費、3) 小売販売額、10) 新聞発行部数、12) 観光収入（以上、4個）

#### e) その他変数：

- 経済自由度（以上、1個）

なお、項目の前に付いている数字は、前回分析で「必要とされた変数項目番号」である。また、「その他変数」には、前回「世界統計年鑑」による「経済発展段階」（先進国ないし発展途上国）を採用したが、今回の分析で

は、ウォールストリート・ジャーナル等が発表している「経済自由度指標」を用いている<sup>(6)</sup>。

こうして、39カ国を確保するために、1991年使用の変数項目に対し、2000年データとして利用できなかった変数項目は、「通貨供給量」、「経常収支」、「為替レート」、「識字人口比」、「初等・中等・高等就学者数」の7つであった。一方、c)人口社会的変数に「携帯電話登録者数」が加えられている。

以上、合計34変数項目である。

### 1-3. 分析対象国 (39カ国)

類型化対象国は、以下の国々である。

◇北アメリカ (2)：カナダ、米国

◇南アメリカ (4)：アルゼンチン、チリ、ベネズエラ、ブラジル

◇中央アメリカ (1)：メキシコ

◇アジア (9)：日本、韓国、フィリピン、シンガポール、タイ、中国、インド、インドネシア、マレーシア

◇オーストラリア (2)：オーストラリア、ニュージーランド

◇中東 (2)：トルコ、イスラエル(「新詳高等地図」では、アジアに入っている)

◇西ヨーロッパ (16)：アイルランド、ベルギー、オーストリア、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、イタリア、オランダ、ノルウェー、スペイン、ポルトガル、スウェーデン、スイス、イギリス

◇東ヨーロッパ (2)：チェコ、ロシア

◇アフリカ (1)：南アフリカ

前回の対象国より除かれたのは、南アメリカのエクアドル、アジアのパキスタンの2つ、入ったのは、南アメリカのチリ、中東のトルコ、西ヨーロッパのアイルランド、東ヨーロッパのチェコとロシアの5つである。前回36カ国に対し、今回は合計39カ国となって

いる。

なお、変数の出所(資料名)は、〈使用された資料と分析法〉の(2)に、変数項目データは、本稿末の〈付表〉に掲げている。

### 1-4. 類型化分析

世界39カ国、34変数で類型化分析を行う。国の類型化は、主成分分析により行う。

前回同様プロマックス法(成分間には若干の相関を認めるという想定が入っている)により「寄与率および累積寄与率」を求めると【表1】のようになる。

第4主成分まで取ると、もとの全変数の74.58%の情報が得られる。第1、第2、第3、第4主成分までとることとする。成分間相関係数行列は、【表2】のようになっている。

新たに得られた4成分と、もとの変数との相関係数を求める【表3】。この相関係数のことを因子負荷量と言い、相関係数表を因子負荷行列と呼んでいる。

各主成分に対して、正または負に高く相関を示す変数を見てみよう。

第1主成分に相関の高い指標：

〈正の相関〉小売販売額、光熱費、消費支出、GDP、食料支出、レジャー支出、輸入、輸出、乗用車利用数、ラジオ普及台数、電話回線利用数、観

【表1】 寄与率および累積寄与率

成分	合計	分散の%	累積%
1	13.663	40.184	40.184
2	7.645	22.485	62.669
3	2.374	6.982	69.652
4	1.676	4.930	74.581
5	1.480	4.354	78.935
6	1.350	3.969	82.905
7	1.138	3.348	86.252
8	.807	2.373	88.625
9	.694	2.041	90.666
10	.560	1.649	92.315

【表2】 因子間相関行列

成分	1	2	3	4
1	1.000	.117	.172	3.126 E-02
2	.117	1.000	-.407	-9.913 E-02
3	.172	-.407	1.000	-8.316 E-02
4	3.126 E-02	-9.913 E-02	-8.316 E-02	1.000

因子抽出法：主成分分析

回転法：Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

【表3】 主成分と各変数との相関係数

	成分			
	1	2	3	4
小売販売額	.981	.151	.147	-.047
光熱費	.980	.147	.102	.000
消費支出	.979	.159	.067	-.021
GDP	.977	.179	.082	-.044
レジャー&教育支出	.975	.178	.061	-.029
乗用車利用数	.960	.205	.005	.165
国防費	.955	.069	.136	.084
広告費	.954	.141	.041	.009
輸入	.949	.277	.037	.059
食料支出	.930	-.008	.323	-.041
ラジオ普及	.891	-.100	.533	-.033
電話回線	.871	-.149	.511	-.132
輸出	.868	.308	.067	.021
観光収入	.840	.247	.044	.287
医師数	.600	-.094	.006	.547
平均世帯構成員数	-.174	-.880	.282	-.084
65 以上人口	.147	.870	-.231	.196
携帯電話	.000	.854	-.418	-.238
平均寿命 (女)	.151	.852	-.308	-.241
平均寿命 (男)	.125	.829	-.267	-.362
経済自由	.097	.727	-.522	-.127
新聞発行数	.068	.723	-.368	-.513
第三次産業	.084	.717	-.665	.033
病床数	.040	.654	-.181	-.169
カロリー	.219	.589	-.399	.126
インフレ	-.051	-.397	-.222	.027
総人口	.275	-.457	.894	-.091
テレビ普及	.678	-.201	.736	-.076
経済成長率	-.046	-.117	.711	.118
都市人口	.077	.506	-.656	.016
製造業就業	-.088	.348	-.436	.254
国土面積	.410	-.284	.421	.218
失業率	-.164	-.331	-.076	.744
耕地面積	.095	-.027	.173	.491

因子抽出法：主成分分析

回転法：Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

光収入

〈負の相関〉 平均世帯構成員数, 失業率  
第2主成分に相関の高い指標:

〈正の相関〉 65 歳以上人口, 携帯電話,  
平均寿命 (男, 女), 経済自  
由度, 新聞発行数

〈負の相関〉 平均世帯構成員数, 総人口,  
インフレ率, 失業率

第3主成分に相関の高い指標:

〈正の相関〉 総人口, テレビ普及台数,  
経済成長率

〈負の相関〉 第3次産業就業割合, 都市  
人口, 経済自由度

第4主成分に相関の高い指標:

〈正の相関〉 失業率, 医師数, 耕地面積  
〈負の相関〉 新聞発行数

これらのことから, 第1主成分を, 「マー  
ケティング活発度」と名付ける。以下, 第2  
主成分は, 「社会的成熟度度」, 第3主成分は,  
「成長志向度」, 第4主成分は, 「環境整備度」  
としておく。

各変数項目を3次元空間上にプロットして  
みたものが【図1】である。

次に, 国別因子得点表【表4】をみて, 4  
因子に対して各国の置かれている位置づけを  
読み取る。

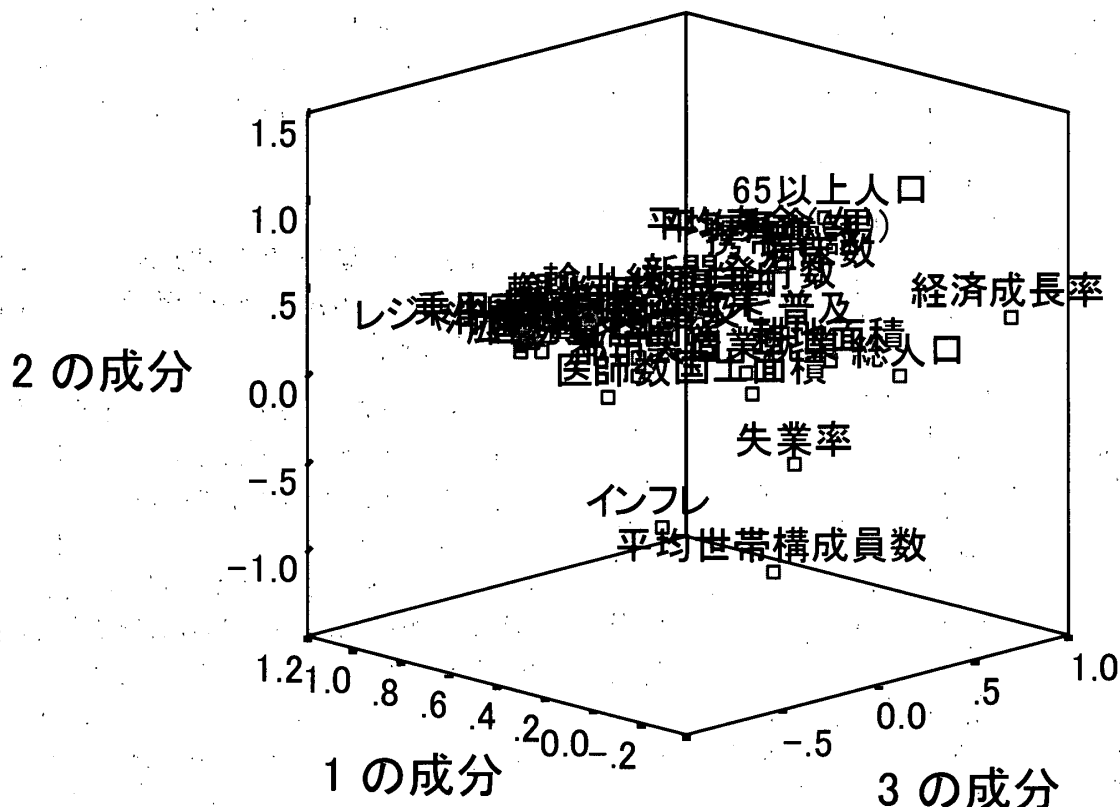
39カ国の中で,

第1主成分 (レジャー志向度) の得点の

高い国: アメリカ, 日本, ドイツ, 中国

低い国: 南アフリカ, チェコ, アイルラ  
ンド, ポルトガル

【図1】 回転後の空間の成分プロット



第2主成分 (社会的成熟度) の得点の

高い国：スイス，ノルウェー，日本，スウェーデン，オーストリア，イギリス，オランダ，フランス，ドイツ

低い国：インド，南アフリカ，トルコ，インドネシア，フィリピン，中国，ブラジル，ベネズエラ，メキシコ，ロシア

第3主成分 (成長志向度) の得点の

高い国：中国，インド，インドネシア

低い国：トルコ，シンガポール，アルゼンチン，イスラエル

第4主成分 (環境整備度) の得点の

高い国：南アフリカ，ロシア，イタリア，スペイン，アルゼンチン，フランス，ドイツ，ギリシャ

低い国：日本，シンガポール，ノルウェー，韓国，中国，マレーシア

国別因子得点を用いて、(主成分分析法の)バリマックス回転 (成分間に相関はゼロ前提) を行って、各国を3次元 (第1, 第2, 第3成分) 空間に位置つけたものが下図【図2】である。

以上を勘案して、国家類型 (グループ) は、およそ以下の5類型になる。

◎高社会成熟度 (高環境整備度) グループ：

ドイツ，フランス，イギリス，イタリア，ベルギー

◎中社会成熟度 (低環境整備度) グループ：

アメリカ，ノルウェー，アイルランド，スイス，フィンランド，デンマーク，スウェーデン，オーストリア，オランダ，イスラエル，日本，韓国，シンガポール，オーストラリア，ニュージーランド，カナダ

【表4】 国別因子得点

	国名	fac1_1	fac2_1	fac3_1	fac4_1
1	カナダ	.09117	.35390	-.18182	-.19587
2	アメリカ	5.46918	.44896	.28016	.27574
3	アルゼン	-.08912	-.41542	-.90153	1.64265
4	チリ	-.47417	-.38470	-.27419	-.49545
5	ベネズエ	-.45191	-1.15124	-.27348	-.72463
6	ブラジル	-.02031	-1.18205	.39754	.10863
7	メキシコ	-.08687	-.96581	-.20146	-.26073
8	日本	1.50480	1.04593	-.06025	-2.16702
9	韓国	-.14499	.12167	-.19403	-.97300
10	フィリピ	-.48013	-1.47236	.48602	-.40367
11	シンガポ	-.31555	.37340	-1.26714	-1.22482
12	タイ	-.42957	-1.17980	.73728	-.43437
13	中国	.93318	-1.31169	4.62238	-.92247
14	インド	-.06829	-2.14404	2.49451	-.04419
15	インドネ	-.32411	-1.53250	.84775	-.14364
16	マレーシ	-.42066	-.76940	-.22758	-.88957
17	トルコ	-.14099	-1.54917	-1.59198	-.54970
18	オーストラ	-.20063	.63697	.01957	-.00386
19	ニュージ	-.49630	.49275	-.09524	.24869
20	イスラエ	-.40873	.37511	-.82361	-.54980
21	アイルラ	-.50476	.47663	-.00975	-.30478
22	ベルギー	-.28130	.80332	-.65459	.83366
23	オストリ	-.33801	.98571	-.32436	-.02820
24	デンマー	-.41170	.78390	-.42793	.13634
25	フィンラ	-.47213	.83650	-.45045	-.69079
26	フランス	.38928	.90597	-.31227	1.26950
27	ドイツ	.74569	.92534	-.49772	.95574
28	ギリシャ	-.42220	.47051	.28374	.85185
29	イタリア	.28648	.78264	-.32171	1.80037
30	オランダ	-.20826	.94790	-.39617	-.55568
31	ノルウェ	-.42391	1.15924	-.24705	-1.76902
32	スペイン	-.04104	.45166	-.19220	1.63980
33	ポルトガ	-.49269	.25358	.45335	.07378
34	スウェー	-.36293	.98604	-.45490	-.89178
35	スイス	-.36618	1.20600	-.09562	-.72849
36	イギリス	.33935	.96703	-.30356	.29088
37	南アフリ	-.50968	-1.98968	-.45705	2.16868
38	チェコ	-.51604	.20550	.08093	.63358
39	ロシア	.14401	-.94832	.53441	2.02163

◎低社会成熟度（低環境整備度）グループ：

チリ，ベネズエラ，メキシコ，マレーシア，トルコ

◎高成長志向度（低社会成熟度）グループ：

中国，インド，ブラジル，インドネシ

ア，フィリピン，タイ

◎低成長志向（高環境整備度）グループ：  
アルゼンチン，ギリシャ，スペイン，ポルトガル，南アフリカ，チェコ，ロシア

## 2. 国家類型の時点間比較（1991年データ分析と2000年データ分析の比較）

### 2-1. 1991年データ分析における変数と国々

前回（1991年データによる）の分析で検討されたのは，183カ国，74変数であった。すなわち，Euromonitor等により，利用可能な国々は183カ国，また，利用可能な「市場細分化変数」は，a) 消費者行動変数8個，b) 経済変数29個，c) 人口社会的変数23個，d) マーケティング変数13個，e) その他変数1個，の合計74変数であった。

しかし，国によって欠落した変数データがあることから，国を増やすと変数が減り，変数を増やすと国が減るという二律背反が生じていた。そこで，5大陸における国々にある程度の配慮（例えば，ほとんどの国に必要な変数データの整備されていないアフリカ大陸でも最低1カ国は取り上げたい，また，アジアについては少なくとも10カ国は確保するなど）をした結果，分析に採用されたのは，40変数，36カ国であった。

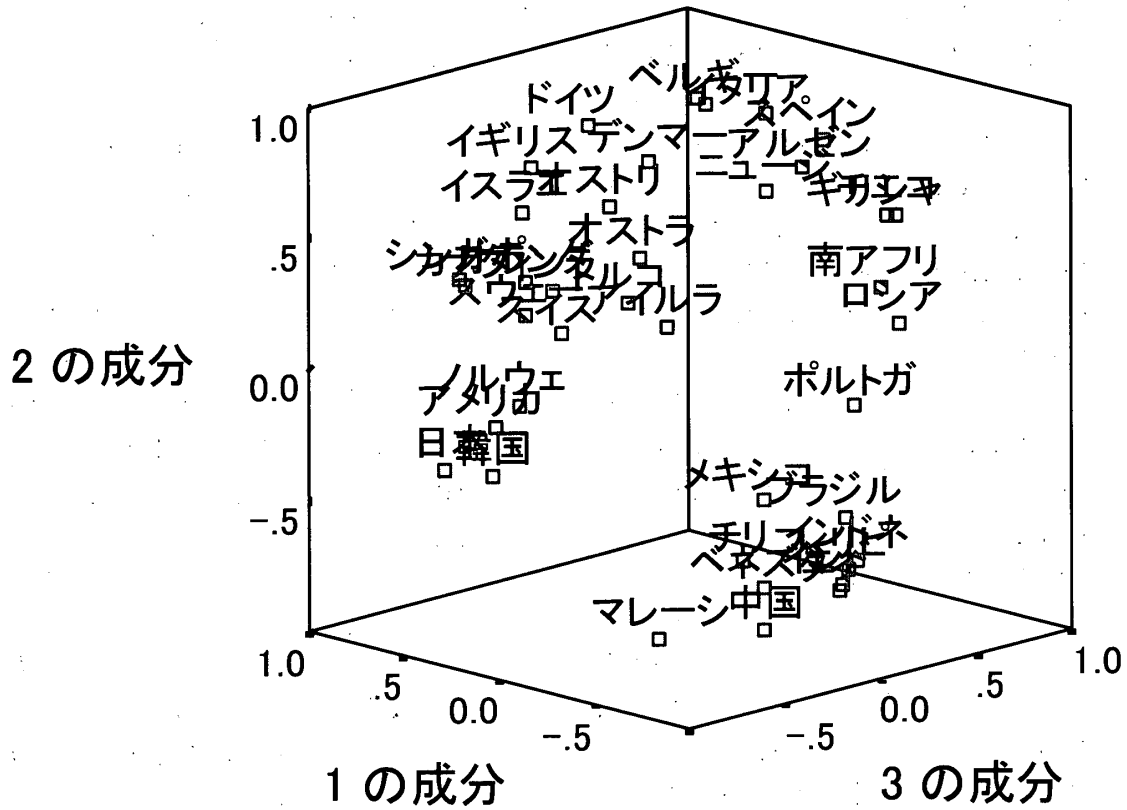
変数と国々の選択に至るまでの経緯は，次のようなものである。

#### (1) 分析に使用された変数

##### (a) 検討された変数

まず，どのような変数が取り上げられるべきかについては，これまでの実証研究に登場した変数を当てることとした。それらの変数は，以下に示されるように大きくa)，b)，c)，d)，e)に分類されている。なお，変数名の後の[ ]内に当該変数の登場した文献が略称で示されている。正式な文献名につ

【図2】 回転後の空間の成分プロット



いては、『比較マーケティング』の第6章章末の資料(データソース)を参照されたい<sup>(7)</sup>。

a) 消費者行動変数(1国):

- 1) 民間消費支出総額〔KAYK, ASIA〕,
- 2) 項目別支出割合(食料, 衣料, 医療, レジャー関連, サービス関連, 耐久消費材),
- 3) 平均世帯所得(1人当り所得)〔KAYKL〕,
- 4) 平均世帯貯蓄率(貯蓄年収比),
- 5) 所得分配(貧困率)(所得格差),
- 6) 乗用車普及率〔KAYK, ASIA〕,
- 7) 持家率,
- 8) 平均世帯構成員数(以上, 8個)

b) 経済変数:

- 1) 国民総生産(GNP)(1人当り),
- 2) 総固定資本形成〔ASIA〕,
- 3) 総国内生産物GDP(1人当り)〔KAYK, ASIA, JAIN〕,
- 4) 年平均経済成長率〔JAIN〕,
- 5) 産業別GDP(農業, 鉱業, 製造業, 卸・小売業, サービス)

- 〔ASIA, JAIN〕,
- 6) 経常収支〔ASIA〕,
- 7) 商品貿易収支〔ASIA〕,
- 8) 1米ドル当り現地通貨〔ASIA〕,
- 9) 為替レート〔ASIA〕,
- 10) 輸出総額〔ASIA〕,
- 11) 輸入総額〔ASIA〕,
- 12) 通貨供給量〔ASIA〕,
- 13) 卸売物価指数〔ASIA〕,
- 14) 消費者物価指数〔ASIA〕,
- 15) インフレ率,
- 16) 公定歩合〔ASIA〕,
- 17) 穀物輸出量〔ASIA〕,
- 18) 穀物輸入量〔ASIA〕,
- 19) 穀物消費量,
- 20) 1次エネルギー輸出量(重油換勢:トン)〔ASIA〕,
- 21) 1次エネルギー輸入量(重油換算トン)〔ASIA〕,
- 22) 1次エネルギー消費(電気)〔ASIA〕,
- 23) 軍事支出(国防費)〔ASIA〕,
- 24) 政府借款〔ASIA〕,
- 25) 全従業者数,
- 26) 製造業従業者数〔KAYK〕,
- 27) 製造業従業者労働時間,
- 28) 製造業従業者1時間当り賃金



〔KAYK〕, 29) 失業者数 (以上, 29個)

c) 人口社会的変数:

- 1) 国土面積〔ASIA, JAIN〕, 2) 耕地面積〔ASIA〕, 3) 道路延長キロ数, 4) 人口数〔ASIA, JAIN〕, 5) 人口増加率〔ASIA, JAIN〕, 6) 出生率〔ASIA〕, 7) 平均寿命(男, 女)〔ASIA, JAIN〕, 8) 65歳以上人口割合, 9) 婚姻率, 10) 離婚率, 11) 都市人口比率〔ASIA〕, 12) 識字人口比〔ASIA〕, 13) 初等・中等・高等教育就学率〔ASIA〕, 14) ラジオ普及率〔ASIA, JAIN〕, 15) テレビ普及率〔ASIA, JAIN〕, 16) 電話普及率〔KAYK, ASIA〕, 17) 人口10万人当り医師数, 18) 病院ベッド1台当り人口〔ASIA〕, 19) 1人当りカロリー摂取量〔ASIA〕, 20) 図書館数, 21) 博物館数, 22) 政治的自由度(政治体制)〔ASIA〕, 23) 人権尊重度〔ASIA〕

(以上, 23個)

d) マーケティング・システム変数:

- 1) 広告費〔KAYK, JAIN〕, 2) 小売店舗数, 3) 小売販売額〔KAYK〕, 4) 大型小売店舗数, 5) コンビニエンスストア数, 6) スーパー・マーケット数(住民1,000人当り)〔KAYK〕, 7) 小売従業員数〔KAYK〕, 8) チャネル段階数〔KAYK〕, 9) 研究開発費〔KAYK〕, 10) 新開発行数〔KAYK, JAIN〕, 11) 書籍出版点数〔JAIN〕, 12) 観光旅行者数(観光客入込数), 13) 広告規制状況〔JAIN〕 (以上, 13個)

e) その他

経済発展段階(先進国ないし発展途上国) (以上, 1個)

(b) 実際に分析に使用された変数

検討された変数のうち, 1991年データとしてEuromonitor統計等で実際に分析に使用できた変数は, 消費者行動変数5個, 経済

変数13個, 人口社会的変数17個, マーケティング変数4個, その他(経済発展段階)1個の合計40個であった。

a) 消費者行動変数(1国):

民間消費支出総額, 項目別支出割合(食料, レジャー関連), 乗用車普及率, 平均世帯構成員数(以上使用変数: 5個)

b) 経済変数:

総国内生産物GDP(1人当り), 年平均経済成長率, 経常収支, 為替レート, 輸出総額, 輸入総額, 通貨供給量, 消費者物価指数, インフレ率, 1次エネルギー消費(電気), 軍事支出(国防費), 製造業従業者数, 失業者数

(以上使用変数: 13個)

c) 人口社会的変数:

国土面積, 耕地面積, 人口数, 平均寿命(男, 女), 65歳以上人口割合, 都市人口比率, 識字人口比, 初等・中等・高等教育就学率, ラジオ普及率, テレビ普及率, 電話普及率, 人口10万人当り医師数, 病院ベッド1台当り人口, 1人当りカロリー摂取量(以上使用変数: 17個)

d) マーケティング・システム変数:

広告費, 小売販売額, 新開発行数, 観光旅行者数(観光客入込数)

(以上使用変数: 4個)

e) その他

経済発展段階(先進国ないし発展途上国) (以上使用変数: 1個)

(使用された変数合計40変数)

(2) 類型化分析に取り上げられた国々

(a) 検討された国々(183カ国)

一方, 取り上げる国々は, Euromonitor統計に登場する183カ国であった。すなわち,

◇アジア(25カ国): 日本, 南アジア(7カ国), ASEAN・NIES諸国(10カ国), 東南アジア(7カ国)

◇中東(14カ国):

◇ヨーロッパ(27カ国): 西ヨーロッパ

(19カ国), 東ヨーロッパ(8カ国)

◇北米(2カ国):

◇中南米(43カ国): 南米(13カ国), カリブ海諸国(22カ国), 中米(8カ国)

(b) 実際に類型化される国々

実際に, 類型化分析に登場した国々は, 以下の36カ国であった。

◇北アメリカ(2): カナダ, 米国

◇南アメリカ(4): アルゼンチン, ベネズエラ, ブラジル, エクアドル

◇中央アメリカ(1): メキシコ

◇アジア(10): 日本, 韓国, フィリピン, シンガポール, タイ, 中国, インド, インドネシア, マレーシア, パキスタン

◇オーストラリア(2): オーストラリア, ニュージーランド

◇中東(1): イスラエル

◇ヨーロッパ(15): ベルギー, オーストリア, デンマーク, フィンランド, フランス, 西ドイツ, ギリシャ, イタリア, オランダ, ノルウェー, スペイン, ポルトガル, スウェーデン, スイス, イギリス

◇アフリカ(1): 南アフリカ

(登場した国数計36カ国)

以上, 使用すべき変数と類型化されるべき国々については, 拙著(1996)『比較マーケティング』・6-2節(pp.94-96)に, また, 実際に使用された変数と国々については, 6-3-2項(pp.96-98)に説明されている。

## 2-2. 1991年データ分析結果の要約

国別因子得点は, 【表5】のようになっている。

これより, 各主成分と各国との関係の強さは以下のように示された。

第1主成分: マーケティング活発度

正の相関の国: アメリカ, カナダ, フランス

負の相関の国: フィリピン, ポルトガル, エクアドル, シンガポール

第2主成分: 社会教育文化志向度

正の相関の国: 日本, カナダ, アメリカ, オランダ, 西ドイツ, デンマーク, イタリア, オーストラリア, ニュージーランド, ベルギー, オーストリア, フィンランド, フランス, ギリシャ, イスラエル, オランダ, ノルウェー, スウェーデン, スペイン, スイス, イギリス

負の相関の国: インド, インドネシア, パキスタン, フィリピン, タイ, 中国, 南アフリカ, マレーシア, ベネズエラ

第3主成分: 健康・福祉志向度

正の相関の国: 中国, インド, 日本, アメリカ, ノルウェー

負の相関の国: ベネズエラ, 南アフリカ, アルゼンチン, ニュージーランド, シンガポール, ベルギー, オーストリア, デンマーク, フィンランド, イスラエル, スウェーデン

第4主成分: 貿易依存度

正の相関の国: 西ドイツ, イギリス, フランス, スペイン, イタリア, スペイン, ベルギー, オランダ, スイス

負の相関の国: アルゼンチン, ブラジル, メキシコ, イスラエル, 日本, 韓国, エクアドル, ベネズエラ, オーストラリア

【表5】 国別因子得点 (36カ国)

国名	FACTOR 1	FACTOR 2	FACTOR 3	FACTOR 4
アルゼンチン	-0.18173	-0.15849	-0.46738	-1.43004
ブラジル	0.03198	-0.78681	0.38732	-1.24340
中国	-0.24938	-1.02724	4.85998	-0.53880
エクアドル	-0.46603	-0.77829	-0.55302	-0.81185
インド	0.20778	-2.62337	2.01043	0.38318
インドネシア	-0.34626	-1.79669	-0.00178	-0.42258
マレーシア	-0.36413	-0.89566	-0.39018	-0.28047
メキシコ	-0.20865	-0.56694	-0.24156	-0.94860
パキスタン	-0.35365	-2.27164	-0.28190	-0.26179
フィリピン	-0.39823	-1.35261	-0.25480	-0.48088
シンガポール	-0.45938	0.18802	-0.42125	-0.19001
南アフリカ	-0.26451	-0.89887	-0.52099	-0.27107
韓国	-0.21536	-0.25845	-0.08472	-0.81957
タイ	-0.40783	-1.04910	-0.14640	-0.34459
ベネズエラ	-0.33707	-0.66221	-0.46736	-0.77836
オーストラリア	0.21632	0.94154	-0.14236	-0.49448
オーストリア	-0.23579	0.55157	-0.43228	0.36636
ベルギー	-0.29258	0.85042	-0.44853	0.62097
カナダ	0.82514	0.99881	-0.05585	0.34216
デンマーク	-0.31243	0.86911	-0.49280	0.03208
フィンランド	-0.17647	0.64938	-0.41020	-0.24611
フランス	0.41433	0.59409	-0.14660	2.63745
西ドイツ	0.00872	0.87476	0.10768	3.38944
ギリシャ	-0.33438	0.48972	-0.40068	-0.08000
イスラエル	-0.40991	0.53122	-0.48791	-0.85706
イタリア	-0.11909	0.53413	-0.11099	-0.09345
日本	0.18033	1.14600	1.17535	-0.90037
オランダ	-0.18822	0.90502	-0.39036	0.57279
ノルウェー	-0.33966	0.81718	-0.43755	0.00396
ニュージーランド	-0.18659	0.73733	-0.56740	-0.40528
ポルトガル	-0.40241	0.09756	-0.33104	0.10139
スペイン	0.07950	0.43745	-0.21282	1.01394
スウェーデン	-0.26193	0.81037	-0.41711	0.10467
スイス	-0.33241	0.73870	-0.37048	0.43167
イギリス	0.28099	0.62898	-0.19454	2.14761
米国	5.59898	0.93015	1.34009	-0.24890

出所：黒田「比較マーケティング」, p.102。

上記の国別因子得点を用いて、バリマックス回転して得られた成分によって国家をプロットしたものが、【図3】である。

こうして、1991年時点の国家類型化は、以下の5つと表わされた。

- ◎オランダ、デンマーク、ギリシャ、オーストラリア、ニュージーランド、米国、日本、スイス、カナダ、ノルウェー、ス

ウェーデン、イタリア、フィンランド

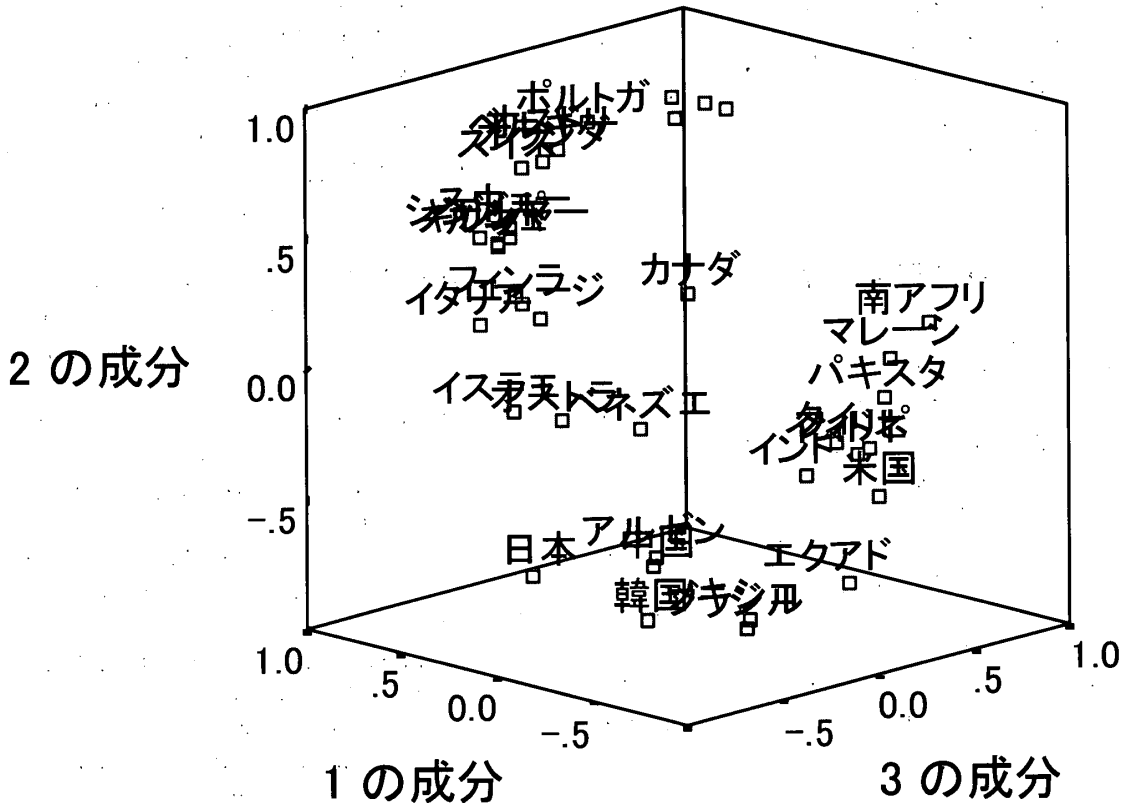
- ◎フランス、西ドイツ、スペイン、イギリス、ベルギー、オーストリア

- ◎アルゼンチン、韓国、エクアドル、ブラジル、メキシコ、イスラエル

- ◎中国、パキスタン、フィリピン、インド、インドネシア、マレーシア、

- ◎ポルトガル、シンガポール、ベネズエラ、

【図3】 回転後の空間の成分プロット



タイ, 南アフリカ

以上, 36 カ国。

### 本稿のおわりに

1991年データと2000年データとは相違がある。

「Euromonitor 2002」データでは、国数は、1991年時の183カ国から2004カ国へと増えている<sup>(8)</sup>。しかし、国によっては、

- 1) 1991年データにはあったが、2000年データにはとれていないものがある。一方で、新しいデータが加えられている。その結果、比較データを少なくしている。

- 2) 変数の定義に変更がある。

そのため、他の資料による補充を試みながらも、2000年データでは、国の数と変数の数を勘案して、39カ国、34変数となっている。

る。1991年時の36カ国、40変数に比して、国家数は3カ国増大したが、変数は6個減ることとなった。

こうして、「本稿のはじめに」で明らかにしたかった課題のうち、比較のポイントであった、ii) と iii),

- ii) 1991年データと2000年データとの間で、データのつながりはどうなっているか。すなわち、類型化分析に使用される変数やその定義にそご齟齬はないか。

- iii) 両時点の類型化分析による各国の分類は、この約10年間で変化しているか。については、依然として今後の課題となっている。

以上の状況を踏まえた上でいえば、1991年時点の5つの国家類型化グループと2000年時点のそれとの間には、この時期各国の状況がかなり様変わりしている（例えば、米国

ウォールストリート・ジャーナル等の発表している「経済自由度」のランキングも毎年のように変化している）中で、若干の出入りはあるもののおおよそのところ変わっていないと言えそうである。

### 注と参考文献：

- (1) 黒田重雄 (1996) 『比較マーケティング』, 千倉書房, 第6章, pp.91-115.
- (2) 黒田重雄 (1997) 「比較マーケティングの研究方向に関する一考察」『経済学研究』(北海道大学), 第47巻第2号, pp.84-90.
- (3) 黒田重雄 (1998) 「比較マーケティングの研究方向に関する一考察」『流通研究』(日本商業学会誌), 第1巻第1号(創刊号), pp.19-32.
- (4) 黒田重雄 (2003) 「比較マーケティング研究とグローバル・マーケティング」『経営論集』(北海学園大学), 第1巻第1号(創刊号), pp.69-89.
- (5) Euromonitor 統計の有用性については、下記の文献に詳しい。

Masaaki Kotabe (2002), "Using Euromonitor database in international marketing research", *Academy of Marketing Science, Journal*, Spring, pp.172-175.

Euromonitor (ユーロモニター) 社については、ユーロモニター社ホームページ：

(<http://n-online.jp/gmid/euromonitor1.htm>)

- (6) 前回と今回採用された変数の定義で、特に違っているのは、「その他変数」である。

すなわち、前回の分析における「その他変数」の「経済発展段階」(先進国か発展途上国か)の分類には、「国連統計年鑑」((財)矢野恒太記念会編(1991)『世界国勢図会 1992-1993』による)に基づく分類が用いられている。

今回の「その他変数」には、「経済自由度指標」(Index of Economic Freedom)を採用した。これは、米国ウォールストリート・ジャーナル紙とヘリテージ財団によって、1995年から公表されている指標で、10分野における自由度を指数化したものとなっている。その10分野は以下の通りである。

1. 貿易政策 (trade policy)
2. 政府財政負担 (fiscal burden of government)
3. 経済への政府介入 (government intervention in the economy)

4. 金融政策 (monetary policy)
5. 資本流通と外国投資 (capital flows and foreign investment)
6. 金融制度 (banking and finance)
7. 賃金と物価 (wages and prices)
8. 財産所有権 (property rights)
9. 規制 (regulation)
10. 不正 (やみ) 取引 (black market)

2000年については、下記の論文に、この指標に基づく161カ国がランキングされている。

- a) K. N Lau and P. Y Lam (2002), "Economic freedom ranking of 161 countries in year 2000: a minimum disagreement approach", *The Journal of the Operational Research Society*, Oxford, Jun. Vol.53, Iss.6, pp.664-667.

また、2005年版については、以下の論文に、世界155カ国・地域の経済自由度ランキングが発表されている。

- b) Mary Anastasia O Grady (2005), "Hail Estonia!", *Wall Street Journal* (Eastern edition), Jan 4, 2005. pg. A. 12.
- c) Marc A. Miles, Edwin J. Feulner and Mary Anastasia O'Grady (2005), *Index of Economic Freedom*, 2005 (Index of Economic Freedom)"

この点についての報道に、以下のようなものがある。

#### 世界経済自由度ランキング

1位	香港	(1)
2	シンガポール	(2)
3	ルクセンブルク	(4)
4	エストニア	(6)
5	アイルランド	(5)
5	ニュージーランド	(3)
7	英国	(7)
8	デンマーク	(8)
8	アイスランド	(17)
10	オーストラリア	(11)
11	チリ	(13)
12	スイス	(9)
12	米国	(10)
27	台湾	(34)
39	日本	(38)
112	中国	(128)
124	ロシア	(-)

\*カッコ内は前年順位(共同)

- d) 「日本、経済自由度39位」『北海道新聞』(朝), 2005.1.5.

【記事の全文】:

世界 155 カ国・地域の経済自由度ランキングで、日本は 39 位と前年より順位を 1 つ下げた。トップは調査開始以来 11 年連続で香港が維持、貿易障壁がないことなどが評価された。日本は 37 位のボツワナとポルトガルの次。銀行の融資基準の厳しさや、政府・日銀の市場介入がマイナス評価となり、郵便貯金の貯蓄率の高さも民間部門への資金の流れを妨げていると指摘された。また、大量の国債発行による財政赤字などから、最近の経済回復が安定軌道に乗るかは「議論の余地がある」とされた。2 位シンガポール、3 位ルクセンブルク、市場化の進むエストニアが前年の六位から四位となった。米国はスイスと並ぶ 12 位で、初めて十位内から脱落した。

中国は世界貿易機関 (WTO) 加盟後の市場開放措置が評価され、前年の 182 位から 112 位へ浮上。韓国は前年並みの 45 位、最下位は「経済中央統制体制に抜本的变化はみられない」とされた北朝鮮だった (以上、香港 2005.1.4 共同)。

なお、2005 年のランキングでは、自由度に応じて 5 大分類もなされている。すなわち、各国は、Free (完全自由)、Mostly Free (かなり自由)、Mostly Unfree (かなり不自由)、Repressed (自由なし)、Unrated (分類不能) のいずれかに入っている。

この分類に基づき、今回 (2000 年) の分析においては、「その他変数」として「経済自由度」を採用し、各国に対して以下のような点数を割り当てている。

	点数
Free (完全自由) 国	(4)
Mostly Free (かなり自由) 国	(3)
Mostly Unfree (かなり不自由) 国	(2)
Repressed (自由なし) 国	(1)
Unrated (分類不能) 国	(0)

(7) 黒田重雄(1996)『比較マーケティング』, p.114.

(8) 国の定義や国家・地域の数については、資料により若干の相違がある。

i) 外務省「世界の国一覧」(財世界の動き社発行『世界の国一覧表 2002 年版』より抜粋):  
(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/ichiran/index.html>)

アジア州:	38 カ国
アフリカ州:	53 カ国
大洋州:	14 カ国
ヨーロッパ州:	40 カ国
ロシア連邦および NIS 諸国:	12 カ国
北アメリカ州:	23 カ国
南アメリカ州:	12 カ国
合計	192 カ国

注) アジア州には、日本が承認していない北朝鮮が含まれている。  
また、ヨーロッパ州には、EU が含まれている。

ii) フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』: (<http://ja.wikipedia.org/wiki/>)

iii) 地図に見る世界の国一覧:  
(<http://homepage1.nifty.com/ptolemy/index.htm>)

使用された資料と分析法:

(1) 2000 年分として使用される変数データについて:

今回の分析においても、データの取得は、基本的に Euromonitor の資料 (2002 年版) に基づいている。基本的には、下記の統計データを使用することとしている。

1) Euromonitor (2002), *International Marketing Data and Statistics 2002*.

しかし、この統計表には、ヨーロッパ (西ヨーロッパ、東ヨーロッパに分かれている) 諸国を除く国々 (南北アメリカ、アジア、アフリカ等) のデータが載せられているのであり、したがって、ヨーロッパ諸国は含まれていない。

世界という観点での分析のためには「ヨーロッパ編」,

2) Euromonitor (2002), *European Marketing Data and Statistics 2002*.

ときに,

3) Euromonitor (2002), *Asian Marketing Data and Statistics 2002*.

によって補われねばならない。

1), 2) の二つの統計を合わせることにより、世界 204 カ国・地域と (延べにして) 103 変数の時系列データが利用可能となる。

分析に使用された変数の収集時点は、2000 年である。しかし、Euromonitor 資料 1), 2) おいてデータが欠落している場合は、他の Euromonitor 資料 3) や下記の「(2)変数の出典ならび

に変数名」にある「国際連合・世界統計年鑑  
2000」（2004）、「世界国勢図会 2003/04」（2003）

「新詳高等地図」等の統計データによって補って  
いる。

(2) 変数の出所（資料名）：

変数名	年度	データ・ソース <sup>1)</sup>	出所表番号（頁）	単位
総消費支出	2000	IMD, EMD	[10-1]	10億 US\$
総食料支出	2000	IMD, EMD	[10-4]	100万 US\$
総レジャー支出	2000	IMD, EMD	[10-16]	100万 US\$
自動車普及台数	2000 他	IMD, EMD	[20-6] [20-8]	1000 台
平均世帯構成員数	1999	IMD, EMD	15-6, 15-7	人
GDP	2000	IMD, EMD	[3-3]	100万 US\$
経済成長率	2001	世界国勢図会	pp.137-	%
経常収支	2001	世界国勢図会	pp.374-	100万 US\$
輸出	2000	IMD, EMD	[5-2]	100万 US\$
輸入	2000	IMD, EMD	[5-1]	100万 US\$
公定歩合	2002	世界国勢図会	pp.414-	年利 (%)
インフレ（率）	2000	IMD, EMD	[3-6]	%
総家庭用光熱費	2000	IMD, EMD	[10-11]	100万 US\$
国防費	2001	世界国勢図会	pp.506-	100万 US\$
製造業就業人口割合	2001 他	IMD, EMD	[6-8]	対全就業人口 (%)
	2001	世界国勢図会	pp.106-	%
第3次産業就業人口割合	1998	新詳高等地図	p.129	%
失業率	2000	IMD, EMD	[6-3]	対全経済活動人口 (%)
国土面積	2001	世界国勢図会	pp.28-	1000 km <sup>2</sup>
耕地面積	2000	世界国勢図会	pp.216-	国土面積に占める農地の割合 (%)
総人口数	2000	IMD, EMD	[2-1]	1000 人
平均寿命（男，女）	2001	世界国勢図会	pp.465-	歳
65歳以上人口割合	2000	IMD	[2-16]	%
都市人口割合	2000	IMD, EMD	[2-12] [2-14]	%
識字率	2002 他	IMD, EMD	[17-1]	%
	2002	世界国勢図会	pp.482-	%
	2000	ウィキペディア	日本のみ	
初等・中等・高等教育就学率	2001	世界国勢図会	pp.482-	%
ラジオ普及台数	1997	世界国勢図会	pp.489-	1000 台
テレビ普及台数	1999	世界国勢図会	pp.489-	1000 台
電話回線	2000	IMD, EMD	[19-1]	1000 回線
医師数	2000 他	IMD, EMD	[16-2]	実数
病床数	2000 他	IMD, EMD	[16-2]	1000 ベッド
カロリー	1999	IMD, EMD	[16-5]	一日当たり数
携帯電話登録者数	1999	新詳高等地図	p.130	対1000人
広告費	2000 他	IMD, EMD	[12-2]	100万 US\$
小売販売額	2000	IMD, EMD	[11-1]	100万 US\$
新聞発行部数（日刊紙）	1996 他	新詳高等地図	p.130	対1000人
観光収入	1999	IMD, EMD	[22-1]	100万 US\$
経済自由度 <sup>2)</sup>	2000			

注) 1) データ・ソースにおける略称の正式名称は、以下の通り。

IMD: Euromonitor, *International Marketing Data and Statistics*, 2002

EMD: Euromonitor, *European Marketing Data and Statistics*, 2002

世界国勢図会：(財) 矢野恒太記念会編 (2003) 『世界国勢図会 2003/04』（第14年度版）。

新詳高等地図：帝国書院編集部編 (2003) 『新詳高等地図（最新版）』，帝国書院，pp.127-132。

ウィキペディア：「フリー百科事典・ウィキペディア」(Wikipedia)：

国際市場細分化を中心とする実証化(黒田)

(<http://ja.wikipedia.org/wiki/>)

(<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%AD%98%E5%AD%97>)

その他、下記の資料が参照されている。

Euromonitor (2002), *Asian Marketing Data and Statistics. 2002.*

財野恒太記念会編 (2004) 『世界国勢図会 2004/05』 (第 15 版)。

国際連合統計局編 (2004) 『国際連合・世界統計年鑑 2000』 (平成 16 年・日本版), 47 巻, 原書房。

総務省統計局 (2004) 『世界の統計 2004 年版』, (財) 日本統計協会。

2) 「経済自由度」の 2000 年のランキングについては、下記の論文を参照。

K. N Lau and P. Y Lam(2002), “Economic freedom ranking of 161 countries in year 2000: a minimum disagreement approach”, *The Journal of the Operational Research Society*, Oxford, Jun. Vol. 53, Iss. 6, pp. 664-667.

(3) 分析法と統計パッケージ

SPSS version 11, *JMP (A Business Unit of SAS), Version 5*, 2002 の統計パッケージにおける因子分析法を採用している。



<付表>

	国名	消費支出	食料支出	レジャー	車利用	世帯構成	gdp	経済成長	輸出	輸入
1	カナダ	383.0	35854.8	40535.7	14154.1	2.52	699473.0	1.5	276635	244786
2	アメリカ	6769.2	418955.6	780121.9	132490.0	2.55	9962650.0	1.2	781125	1257640
3	アルゼン	219.8	50957.5	20816.7	5519.0	3.28	285103.0	-4.5	26298	25149
4	チリ	46.2	8336.6	4814.1	168.6	3.85	70545.0	2.8	18158	18107
5	ベネズエ	78.8	24413.0	3492.4	2065.0	4.65	120484.0	2.8	31802	16213
6	ブラジル	389.5	64826.8	20377.7	13347.0	3.40	595413.0	1.4	55086	58532
7	メキシコ	391.9	90842.6	23680.7	9641.0	4.30	565274.0	-3	158929	16440
8	日本	2749.1	295110.7	293643.2	42329.0	2.75	4759541.0	-1.4	479249	379511
9	韓国	276.4	42174.9	34205.1	7615.3	3.30	457220.0	3.0	172268	160481
10	フィリピ	54.0	20135.3	3025.8	780.5	4.99	74732.0	3.4	39783	33808
11	シンガポ	38.6	10023.1	4119.7	324.0	3.60	92254.0	-2.0	82219	134545
12	タイ	74.4	17815.0	5181.0	2262.8	3.90	122167.0	1.8	69057	61924
13	中国	516.0	175836.1	58854.6	3775.3	3.64	1079954.0	8.0	249297	206132
14	インド	276.9	132459.8	9790.0	5304.7	5.40	471739.0	5.5	42101	51633
15	インドネ	105.9	53168.4	6167.8	3264.5	4.20	153255.0	3.3	47438	31857
16	マレーシ	37.0	8181.6	2122.6	3960.7	4.55	89321.0	.6	77505	82199
17	トルコ	159.8	44466.3	5837.4	4422.0	4.05	203807.3	-7.3	26572	53499
18	オストラ	229.3	24725.9	30715.4	10252.0	2.60	380232.0	2.6	63870	71531
19	ニュージ	31.3	3422.0	2889.2	1880.9	2.70	49841.0	4.3	13266	13906
20	イスラエ	63.1	10632.3	6831.9	1408.0	3.53	110332.0	-.9	31338	37686
21	アイルラ	43.9	5872.7	2745.0	1263.7	3.16	94601.9	5.9	1891	50547
22	ベルギー	111.2	14740.0	11428.8	4482.0	2.39	213688.7	1.0	186227	173388
23	オストリ	101.7	11749.8	8473.6	3929.0	2.45	178978.7	1.2	64155	68972
24	デンマー	78.2	9243.5	8376.9	1874.7	2.10	162343.2	.9	49534	43705
25	フィンラ	55.8	6706.1	5843.0	2151.7	2.23	114717.4	.7	44524	32604
26	フランス	673.4	94227.2	62435.5	26945.0	2.49	1212043.5	1.8	295023	301021
27	ドイツ	997.7	107499.4	99818.2	43210.0	2.20	1794277.4	.6	549578	497803
28	ギリシャ	80.9	16451.8	5521.9	3076.6	2.89	111932.4	4.1	10209	27760
29	イタリア	633.8	89788.4	53912.3	32066.0	2.64	1012531.1	1.8	238262	236624
30	オランダ	168.6	18167.2	1500.0	6208.6	2.29	347961.9	1.1	208813	197251
31	ノルウェ	66.9	9216.6	6624.0	1787.6	2.20	159399.6	1.6	57515	32655
32	スペイン	320.2	51711.1	30551.9	16212.3	3.24	526607.2	2.8	113325	152870
33	ポルトガ	6.9	14730.6	495.5	3330.0	2.76	99044.6	3.3	23310	38250
34	スウェー	11.5	13282.5	11209.9	3914.0	2.00	227313.4	1.2	86908	72634
35	スイス	140.5	19873.5	11880.9	3447.0	2.25	242033.9	1.3	74865	76070
36	イギリス	901.1	80347.9	125765.5	25167.0	2.36	1413795.1	2.0	281436	334341
37	南アフリ	78.1	16520.3	5141.6	4016.0	4.34	123532.0	2.2	29983	29695
38	チェコ	28.3	6205.5	2183.0	3823.3	2.73	50765.8	3.3	28999	33852
39	ロシア	177.4	68274.1	8305.1	21180.0	2.81	246718.7	5.0	104836	49125

国際市場細分化を中心とする実証化(黒田)

	国名	インフレ	光熱費	国防費	製造就業	第三次産	失業率	国土面積	耕地面積	総人口
1	カナダ	2.8	11994.9	7745	15.1	73.0	7.4	9971.0	7.5	30491
2	アメリカ	3.4	153864.2	322365	14.0	73.5	4.2	9629.0	43.4	272820
3	アルゼン	-0.9	9722.2	4408	14.0	57.5	14.7	2780.0	60.9	36578
4	チリ	3.8	1985.5	2841	14.3	60.1	9.0	757.0	20.1	15018
5	ベネズエ	16.2	4865.8	1896	13.5	65.4	10.7	912.0	23.7	24401
6	ブラジル	7.0	9008.3	10511	11.6	55.8	7.9	8514.0	29.3	163948
7	メキシコ	9.5	4719.0	5733	18.9	54.0	2.2	1958.0	54.8	99627
8	日本	-0.6	61453.0	39513	20.0	62.7	4.7	378.0	12.8	126968
9	韓国	2.3	10832.8	11165	20.1	53.6	6.3	99.0	19.9	47437
10	フィリピ	4.4	2557.8	1065	9.6	44.4	11.3	300.0	37.8	76823
11	シンガポ	1.4	983.5	4280	18.8	67.3	4.5	7	1.6	3218
12	タイ	1.6	1799.8	1831	14.5	31.0	6.6	513.0	36.6	61601
13	中国	0.3	25238.2	46049	11.3	13.0	4.0	9597.0	55.8	1278768
14	インド	4.0	8802.0	1167	8.1	27.6	11.9	3287.0	54.9	1012611
15	インドネ	3.7	4012.8	860	13.0	39.8	6.7	1905.0	23.5	211388
16	マレーシ	1.5	1024.1	3249	22.8	49.4	3.3	330.0	23.9	22450
17	トルコ	54.9	11739.5	7219	17.4	34.2	6.2	775.0	50.4	64328
18	オストラ	1.5	4557.8	6752	12.2	72.7	7.4	7741.0	58.8	18967
19	ニュージ	2.6	788.4	664	15.8	67.4	8.4	271.0	61.3	3858
20	イスラエ	1.1	1530.2	10375	17.4	69.2	8.9	22.0	26.5	6098
21	アイルラ	5.2	1273.8	623	17.4	65.3	8.5	70.0	6.7	3797
22	ベルギー	2.5	4910.1	317	18.9	74.1	11.0	31.0	46.0	10245
23	オストリ	2.4	4007.7	1471	19.6	60.3	5.8	84.0	40.0	8087
24	デンマー	2.9	4922.9	2409	18.7	69.6	5.4	43.0	61.4	5341
25	フィンラ	3.4	2118.8	1432	19.8	64.9	9.8	338.0	6.5	5178
26	フランス	1.7	25204.0	32909	18.8	72.2	12.1	552.0	53.9	59334
27	ドイツ	2.0	40651.9	26902	23.4	59.6	9.5	357.0	47.8	81939
28	ギリシャ	3.1	2978.6	517	14.2	54.1	9.8	132.0	64.6	10546
29	イタリア	2.5	22238.9	20966	22.7	59.0	12.9	301.0	50.7	57507
30	オランダ	2.5	5348.8	6257	14.2	74.0	2.9	42.0	47.1	15921
31	ノルウェ	3.1	2963.0	2967	12.6	71.9	2.7	324.0	3.2	4487
32	スペイン	3.4	8235.4	6938	18.8	61.4	13.3	506.0	58.6	39461
33	ポルトガ	2.9	2120.6	2226	21.6	56.5	4.0	92.0	45.0	100011
34	スウェー	1.0	6222.2	3989	17.5	72.4	5.7	450.0	7.0	8865
35	スイス	1.6	3833.7	2840	18.0	67.4	2.5	41.0	38.3	7132
36	イギリス	2.9	2434.1	3714	16.4	72.9	4.6	243.0	69.8	59468
37	南アフリ	5.3	2350.8	129	22.3	65.6	23.6	1221.0	34.7	43278
38	チエコ	3.9	2058.0	1167	27.7	43.5	9.8	79.0	54.3	10275
39	ロシア	20.8	3539.2	63684	19.1	43.8	14.7	17075.0	12.7	145253

	国名	寿命 男	寿命 女	65 以上	都市人口	ラジオ	テレビ	電話回線	医師数	病床数
1	カナダ	76	82	12.8	77.1	31398	21450	20635	63556	3.9
2	アメリカ	75	81	12.5	77.1	575000	233000	187587	751200	3.6
3	アルゼン	71	78	9.7	89.3	24300	10600	7678	723501	4.0
4	チリ	73	79	7.2	84.6	5180	3600	3271	5199	2.7
5	ベネズエ	71	77	4.4	87.3	7011	4386	2483	8511	1.5
6	ブラジル	64	72	5.1	80.9	71000	56000	29682	197567	3.1
7	メキシコ	70	72	4.7	74.4	31000	26500	12238	154698	1.1
8	日本	78	85	17.1	78.9	120500	91000	73351	24830	16.5
9	韓国	70	77	6.7	85.7	47500	16896	20582	1311	6.1
10	フィリピ	68	72	3.6	58.2	11500	8200	3314	11613	1.1
11	シンガポ	76	80	7.2	100.0	2550	1200	1990	437	3.6
12	タイ	67	71	5.8	21.6	13959	16700	5372	30661	2.0
13	中国	69	72	6.8	34.3	417000	370000	132634	39510	2.4
14	インド	62	64	5.0	28.4	116000	75000	32078	132923	.8
15	インドネ	65	68	4.7	40.2	31500	30000	6566	210798	.7
16	マレーシ	70	75	4.1	56.8	9100	3800	4493	6033	2.0
17	トルコ	67	72	5.6	74.3	33406	21500	19047	84714	2.6
18	オストラ	76	82	12.1	84.7	25500	13400	9906	5900	7.9
19	ニュージ	76	81	11.6	86.9	3750	1975	1908	8488	6.2
20	イスラエ	77	81	9.8	91.2	3070	2000	2963	22422	6.3
21	アイルラ	74	79	11.2	58.5	2550	1505	1920	8766	9.7
22	ベルギー	75	82	16.7	97.3	8075	5400	12	39519	7.3
23	オストリ	76	81	15.5	64.7	6080	4300	101	25877	8.6
24	デンマー	74	79	15.5	85.7	7000	4100	106	15527	4.5
25	フィンラ	75	82	14.8	64.8	8080	3320	96	16046	7.5
26	フランス	76	83	16.1	75.6	55300	36500	107	194000	8.2
27	ドイツ	75	81	17.1	87.5	77800	47660	96	295124	9.1
28	ギリシャ	75	81	16.7	60.1	5020	5100	99	47236	4.9
29	イタリア	75	82	18.2	67.0	50500	28200	105	338062	4.9
30	オランダ	75	81	13.5	89.3	15300	8500	103	39069	10.8
31	ノルウェ	76	81	15.4	74.2	4030	2900	95	10238	14.2
32	スペイン	75	82	17.0	77.5	13100	22000	114	178489	4.1
33	ポルトガ	73	79	15.3	38.0	3020	5600	102	32217	4.0
34	スウェー	78	82	17.4	83.3	8250	4900	104	28440	3.6
35	スイス	77	83	15.7	62.4	7100	3700	97	13743	17.9
36	イギリス	75	80	15.9	89.5	84500	38800	98	117271	4.0
37	南アフリ	46	48	3.6	50.4	13750	5500	5960	31336	.8
38	チェコ	72	78	13.8	66.3	8270	5000	4174	30524	8.8
39	ロシア	59	72	12.9	77.5	61500	62000	32502	636100	12.1

国際市場細分化を中心とする実証化(黒田)

	国名	カロリー	広告費	小売販売	新聞	観光収入	携帯電話	経済自由
1	カナダ	3165.9	5208	130967.00	158	9675	227	4.00
2	アメリカ	3738.7	223702	2229571.0	212	84479	312	4.00
3	アルゼン	3180.7	3248	57437.00	123	4923	121	3.00
4	チリ	2858.0	588	17779.00	98	961	151	4.00
5	ベネズエ	2277.5	2	36906.00	206	765	143	1.00
6	ブラジル	2956.8	3407	88010.00	40	2958	89	1.00
7	メキシコ	3145.5	373	95161.00	97	8945	79	2.00
8	日本	2758.9	42008	1088990.0	578	3963	449	3.00
9	韓国	3073.0	6692	90224.00	394	6058	500	3.00
10	フィリピ	2359.4	486	30881.00	82	2514	38	2.00
11	シンガポ	4100.4	850	9936.00	324	7799	419	4.00
12	タイ	2477.4	1413	26189.00	64	6106	38	3.00
13	中国	3031.7	4753	391995.00	42	14433	34	1.00
14	インド	2425.4	1571	221799.00	26	3511	2	1.00
15	インドネ	2904.4	996	24935.00	23	3880	11	1.00
16	マレーシ	2925.0	792	11632.00	163	2932	137	3.00
17	トルコ	3469.0	974	53485.00	110	6859	119	3.00
18	オストラ	3150.0	4579	80472.00	296	8177	343	4.00
19	ニュージ	3152.0	666	11276.00	216	1736	230	4.00
20	イスラエ	3566.4	1060	23244.00	288	2479	459	3.00
21	アイルラ	3649.0	770	14184.00	149	3667	447	4.00
22	ベルギー	3654.6	1716	44846.00	161	5471	314	3.00
23	オストリ	3730.8	1730	26513.00	296	17995	514	4.00
24	デンマー	3402.5	1333	30458.00	311	2921	495	3.00
25	フィンラ	3192.4	1006	26802.00	455	1385	651	3.00
26	フランス	3581.3	9299	286158.00	218	33401	364	3.00
27	ドイツ	3413.5	17983	446568.00	311	16309	286	3.00
28	ギリシャ	3679.0	1499	26308.00	153	13073	311	3.00
29	イタリア	3636.5	7287	257634.00	104	27468	528	3.00
30	オランダ	3242.6	3384	57469.00	306	7536	435	4.00
31	ノルウェ	3385.4	1454	29051.00	590	2123	617	3.00
32	スペイン	3349.1	5181	95013.00	99	36426	312	3.00
33	ポルトガ	2734.4	1560	12852.00	75	5595	468	3.00
34	スウェー	3103.8	1874	45852.00	445	4608	583	3.00
35	スイス	3288.4	2522	48554.00	331	6945	411	4.00
36	イギリス	3326.1	15840	313077.00	331	23148	463	4.00
37	南アフリ	2880.9	1135	24963.00	34	1774	132	2.00
38	チエコ	2582.0	684	17752.00	254	3482	189	3.00
39	ロシア	2879.0	40	66389.00	105	4454	9	1.00